

基本政策

政界再編の魁(さきがけ)となります。

- 民主、自民の二大政党の「足の引っ張り合い」の政治は限界です。同じ理念、基本政策を持った政治家が相集い、安定した政治基盤の下でじっくりと本質的な改革を実現できるよう行動します。
- 小選挙区制度を改め、政治家個人の資質を見極めて国民が選択できる中選挙区制度に戻します。

本物の経済構造改革を実現して地域経済を活性化させます。

- 20世紀型の大量生産大量消費、輸出依存型経済では日本は成長しません。再生可能エネルギーも活用した地域循環型エネルギー供給、6次産業化の促進による農業を基盤とした地域循環型食料供給、コンパクトシティの実現によるにぎわいのある商店街の復活を実現し、内需主導型の骨太な経済構造に転換させます。

真の社会保障と税の一体改革を実現させます。

- 今般の「一体改革」では老後生活を支える持続可能な年金制度や高齢化社会に見合った医療保険制度は実現していません。景気の動向を慎重に見極めた上で税制改革の実行を判断し、消費税が国土強靱化を名目にした公共事業に使われることなく、全額医療、年金、介護、子育て等に使われるようにします。

自立した戦略的アジア外交の推進

- 平和主義、経済協力、民主制度の堅持などによりこれまで積み重ねてきた東南アジア、台湾、インド、トルコ等での日本への信頼と優位な立場を生かし、対米従属に陥ることなく、近隣ライバル諸国としたたかに交渉できる外交を実現します。
- 経済外交において「守るべきもの」「とるべきもの」の基本方針をしっかりと描き、日本の国益を反映させることが極めて難しいTPP(環太平洋経済連携協定)ではなく、ASEAN+6や日中韓FTAなどの経済連携を日本がアジアのリーダーとなって戦略的に推進します。

いざという時に役立つ「代議士」であり続けます。

- 地元を限なく飛び回るフットワークと、官僚時代から培ってきた中央官庁や東京の経済界との太い人脈を活用して、大規模自然災害など地元が困っているときに、地元の思いを中央に伝え直ちにそれを実行する皆さまの「代議士」であり続けます。

これからも
全力疾走!

前 衆議院議員 福島のぶゆき

- 1970年生・茨大付属中・水戸一高・東京大学農学部卒
- 通商産業省(現経済産業省)内閣官房参事官補佐
- 2009年・衆議院議員・農林水産委員会・内閣委員会
震災復興特別委員会(理事)・政調会長補佐
- 水戸市千波町在住・気象予報士の妻と長男の三人家族